

目次

刊行の辞	富井馨	一
監修の辞	森克己	五

野沢温泉村の自然

一 地形・地質	四
---------	---

1 地形(四)	2 岩石の記載(五)	3 温泉と地質(九)	4 地
史(一五)			

二 気象	一七
------	----

1 気温(一七)	2 降水量(一八)	3 積雪量(一九)	4 湿
度(二三)			

三 自然災害	二五
--------	----

四 動物	三四
------	----

1 哺乳類(三五)	2 鳥類(三七)	3 爬虫類(四一)	4 両生
類(四三)	5 魚類(四三)	6 昆虫類(四七)	7 蜘蛛類(五九)

- 8 多足類(六二)
- 9 甲殻類(六二)
- 10 腹足類(六三)
- 11 双殻類(一枚貝類)(六五)
- 12 その他の動物(六六)
- 13 温泉動物(六六)

五 植 物……………六六

- 1 纖維用植物(六九)
- 2 材用植物(七二)
- 3 食用植物(七二)
- 4 薬用植物(七七)
- 5 深雪と植物(六八)
- 6 植物の地方名(九三)
- 7 村内の名木・名花(九九)

原始・古代(考古学分野)

一 考古学による歴史の復原……………一三三

二 過去における野沢温泉村の調査……………一三七

三 先土器時代……………一三三

- 1 自然環境と人類(三三)
- 2 先土器時代の文化(三五)
- 3 蕨平遺跡の調査(三五)
- 4 坪山出土の尖頭器(三五)
- 5 上ノ平の大形石器(三七)
- 6 先土器時代の野沢温泉村(三六)

四 縄文時代……………一三九

- 1 縄文土器の出現(三九)
- 2 縄文土器の編年(四一)
- 3 縄文文化の性格(四三)
- 4 村内における縄文時代遺跡(四四)
- 5 虫生(B)遺跡(四四)
- 6 岡ノ峰遺跡の調査(四六)
- 7 二座遺跡の調査(四六)

查(三三) 8 池ノ平遺跡(二七)

町遺跡(二七九) 11 中尾遺跡(二七九) 12 平林遺跡の調査(二八)

13 日影遺跡の調査(三三) 14 坪山遺跡(三三) 15 蔵平遺跡の調

査(三五) 16 重地原遺跡(三三) 17 縄文時代の野沢温泉村(三三)

五 弥生時代……………三三七

1 農耕技術と鉄器の渡来(三七) 2 長野県の弥生文化(三〇)

3 弥生時代の野沢温泉村(三六)

六 古墳時代……………三三八

1 古墳の出現とその展開(三六) 2 長野県の古墳文化(三四〇)

3 古墳時代の野沢温泉村(三四五)

七 歴史時代……………三四六

1 歴史時代の遺跡と遺物(三四六) 2 村内における歴史時代遺

跡(三四六) 3 史生遺跡の調査(三四八) 4 前坂遺跡の調査(三四九)

5 平林遺跡(三五) 6 七ヶ巻遺跡(三五) 7 考古学的資料よ

り見た平安時代の野沢温泉村(三五)

古 代

一 律令時代の郷土……………三五九

二 律令諸制度と郷土の生活……………二六八

1 高井郡(二五九)

2 行政の仕組み(二六〇)

3 神戸郷(二六五)

1 土地制度(二六二)

2 条里制(二七二)

3 租税制度(二七二)

4 軍事制度(二七七)

5 交通制度(二七九)

6 牧(二八二)

7 神

社と寺院(二八五)

三 律令制の動揺……………二六八

1 荘園の成立(二九〇)

2 武士の発生(二九二)

中世

一 源平の抗争と郷土……………二九五

二 鎌倉武家政権と郷土……………三〇四

三 建武中興と郷土……………三三〇

四 南北朝の動乱と郷土……………三五五

五 諸豪族の抗争と郷土……………三五五

六 室町政権と郷土……………三三九

1 大内義弘の乱と市河氏(三三九)

2 大塔合戦・関東の乱と市河

氏(三四一)

3 高梨氏の岳北への進出(三四五)

七 郷村の発達と郷土……………三六

1 湯山荘と野沢温泉(三四) 2 湯山村から野沢温泉へ(三四)

八 甲越勢力の抗争と郷土……………三九

1 信玄と謙信(三五) 2 信玄の信濃攻略(三六) 3 謙信の信濃進出(三六)

4 甲越両軍の激突と郷土(三六)

九 謙信・信玄以後の郷土……………三五

近世・近代

一 領主の変遷と治政……………六一

二 検地と村の成立……………四六

1 野沢村(四二) 2 坪山村(四二)

3 前坂村(四二) 4 東大滝村(四六)

5 七ヶ巻村(四三) 6 虫生村(四三) 7 平林村(四三)

8 重地原村(四三) 9 枝郷(四三)

三 諸村の年貢負担……………四一

1 年貢賦課の変化(四一) 2 石代納と年貢納入(四七)

四 村の支配と構造……………四二

1 村の規制(四二) 2 村役人(四五) 3 五人組制度(四七)

4 村入用(四九)

五 農業生産と農閑余業……………四九〇

1 稲作の発展(四九〇) 2 畑作(四九三) 3 農閑余業(四九四)

4 水車の利用(四九七) 5 駄馬の利用(四九九) 6 商品流通(五〇〇)

7 農業技術(五〇二) 8 在方酒造と鈴木家(五〇四)

六 山林・用水と諸村の利用……………五二一

1 山林の利用(五二一) 2 村の用水(五二三)

七 千曲川の普請と舟運……………五二六

八 農民層分化の傾向……………五三九

九 村の生活と文化……………五四六

1 村の人口(五四六) 2 出稼ぎ・奉公人(五四四) 3 民間信仰の

流行(五五五) 4 無尽・頼母子(五五六) 5 寺社(五五〇)

一〇 村の治安——取締役の設置……………五五八

一一 巢守と御巢鷹山……………五七三

一二 近世の野沢温泉……………五八三

1 温泉場の展開(五八三) 2 温泉運上金の上納(五八九) 3 松平

氏と野沢温泉(五九一)

一三 江戸後期の諸村の動向……………五九五

- 1 安永の打こわし(五九五)
 - 2 代官所と諸村の動向(五九七)
 - 3 天保期の諸村(六〇一)
 - 4 幕末の助郷(六〇三)
 - 5 丸石積の元祖(六〇七)
 - 6 幕末の諸村(六〇四)
- 一四 廃藩置県……………六〇七
- 1 信州諸藩と本村の動静(六〇七)
 - 2 中野騒動(六〇九)
- 一五 地租改正と小作制度……………六二二
- 1 地租改正(六二二)
 - 2 水尾山官林一件(六二五)
 - 3 維新後における小作制度(六三二)
- 一六 区制以後の野沢温泉村の動向……………六三七
- 一七 学校教育の発展……………六三九
- 1 学制と小学校の設立(六三九)
 - 2 野沢尋常高等小学校(六四三)
 - 3 野沢国民学校(六四〇)
 - 4 新制小・中学校(六四四)
 - 5 教育に尽力した人々(六四五)
- 一八 温泉の開放と発展……………六五〇
- 1 小学校建設と麻釜湧出湯の開放(六五〇)
 - 2 野沢温泉利用調査会の発足(六五三)
 - 3 麻釜競売事件(六五五)
 - 4 麻釜湯の分湯(六五八)
 - 5 戦後の野沢温泉(六五九)
 - 6 野沢温泉の特徴(六六一)
 - 7 野沢

温泉の民宿(六四)

一九 野沢温泉村の産業 六七〇

1 麻布の生産(六七〇) 2 養蚕(六七二)

3 木通蔓細工(六七三)

4 野沢菜(六八〇)

二〇 交通・通信機関の発達 六六五

1 陸路(六八五) 2 渡船(六八九) 3 飯山鉄道ならびに長野電

鉄(六九一) 4 通信機関の発達(六九五)

二一 戦争と野沢温泉村 七〇一

付 表 七〇九

あとがき 岸 亨 : 七一九

口絵写真

縄文時代中期竪穴住居跡(岡ノ峰)

平安時代竪穴住居跡(虫生)

文久二年(一八六二)野沢村絵図(野沢組所蔵)

弘治三年(一五五七)武田晴信書状(鉶路市市川良一氏

所蔵)

野沢温泉村役場

村章(昭和三十九年制定)

野沢温泉村 野沢 中尾 前坂 重地原 坪山 平林

矢垂 虫生 朝上 七ヶ巻 東大滝 明石

道祖神(野沢組)

野沢温泉村遠望